



# たかのす便り

初冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
今回は、関川村区長会、新発田南高校土木工学科の皆さんが現場視察に来られました。  
また、鷹ノ巣道路事業で実施されているICT活用工事の概要についてご紹介します。

## 関川村区長会が「ICT活用工事」の現場視察！

11月17日（金）に、関川村区長会の皆さんが鷹ノ巣道路事業の現場視察に来られました。  
今回は沼地区の工事進捗状況について視察され、最新の「ICT活用工事」の各技術について理解を深めていただきました。



工事概要説明状況



UAVの概要説明状況

## 新発田南高校土木工学科の生徒が「コマツIoTセンタ北陸」に現場視察！

当初「鷹ノ巣道路事業」の現場見学を10月24日（火）に予定していましたが、台風21号の影響で、急遽「コマツIoTセンタ北陸」での現場見学会となりました。

当センタでは、平成28年度から国土交通省が推進している施策のi-Construction（アイコンストラクション）に対応した、コマツの「スマートコンストラクション」の概要説明、ICT建設機械のデモンストレーションの視察、その後、UAVによる実演を見ていただき、学生の皆さんは興味深く説明を聞いていました。

また、本現場視察は「北陸建設界の担い手確保・育成協議会」の設立趣旨に基づき、実施させていただいたものです。



「スマートコンストラクション」の概要説明



ICT建設機械のデモンストレーション状況



UAVの概要説明状況

# 「鷹ノ巣道路沼地区改良その3工事進捗状況！」

本工事は、受注者の提案により「※ICT活用工事」を実施しましたので、現場での実施状況について概要を説明します。

※ICT活用工事：建設生産プロセスの全ての段階においてICT施工技術を全面的に活用する工事



沼地区工事現場での稼働写真

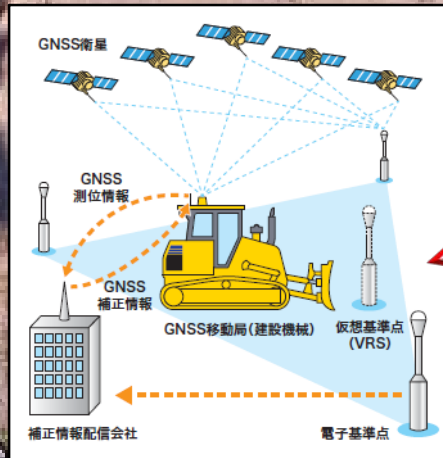
- ・排土板の上・下操作は、設計データに合わせて自動的に行われる。
- ・オペレーターはブルドーザを前・後進させるだけで盛土完成 OK！



オペレーターは運転室内の画面を見ながら走行するだけで盛土が完成！



ブルドーザの位置を把握するための、送・受信器が設置されている。



測位技術  
GNSS衛星と電子基準点を活用して、建設機械の位置を把握する。



UAVIによる三次元起工測量

ICT活用工事稼働状況(沼地区工事現場写真 H29.10)

現場代理人の声 (株) 渡辺組 角田現場代理人

- ・丁張り等の設置が必要ないので安全性が向上
  - ・ICT建設機械の活用により、生産性が向上
  - ・各層毎の人的計測が不要なため、生産性・安全生の向上
- ※やるまでは、難しい技術だと思っていましたが、やってみたら非常に便利な技術だと思いました。



## 発行およびお問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局  
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1  
電話：0254-62-3211(代表)  
担当：小泉 (鷹ノ巣道路整備推進プロジェクトリーダー)  
URL⇒<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

モバイル

